

鬼石中だより

自立・貢献

藤岡市立鬼石中学校
令和7年度学校だより 第12号
令和8年1月9日
文責：校長 五十嵐

* 新年のご挨拶とともに *

保護者の皆様、地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、いよいよ3学期がスタートいたしました。短い冬休みもあっという間に終わり、子どもたちの元気な声が学校に響き渡り、活気あふれる日々が戻ってきました。3学期のスタートにあたって、生徒たちには、「3学期は、今の学年のまとめであると同時に、次年度の『0学期』である」という意識を持たせて生活させたいと考えています。

3ヶ月後には新年度を迎えるところまで来ましたが、4月の新しい学年や進路に進んだ瞬間からスイッチを入れるのは容易ではありません。大切なのは、今この時から「一歩先の自分」をイメージして過ごすことです。

***1年生は、後輩を迎える「先輩」としての自覚を**

***2年生は、学校の顔となる「最高学年」としての責任を**

***3年生は、義務教育を終え自立した「社会の一員」となる準備を**

それぞれ意識し、この3ヶ月間を次年度に向けた「助走期間(0学期)」と捉え、今の自分よりも一段高い目標に挑戦するよう、教職員一同で指導してまいります。

生徒たちがこの「0学期」を主体的に過ごすためには、ご家庭での温かい励ましが何よりの力になります。ぜひ、以下の2点について、お子様との会話のきっかけにいただければ幸いです。

①「4月の自分」を想像する会話を

→ 「4月からどんな先輩になりたい?」「次の学年で頑張りたいことは?」
など、少し先の未来をポジティブに描けるような声掛けをお願いします。

②小さな変化を認める声掛けを

→ 「0学期」の意識で、朝の起き方や学習への向き合い方が少しでも
変わったときは、ぜひその変化を見逃さず、肯定的な言葉をかけてあげてください。



学校と家庭が同じ方向を向き、「今の頑張りが、未来の自分を楽にするんだよ」というメッセージを伝え続けることで、子供たちは安心して次のステップへと踏み出すことができます。

本年も、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

* 3学期始業式校長の話「強い心と希望を持って」1/7 *

1月7日(水)の始業式では、今年度も、生徒たちへ坂村真民の詩「鳥は飛ばねばならぬ」を紹介し、詩の一節「人は生きねばならぬ」の意味について伝えました。話の要旨は以下の通りです。

「鳥は飛ばねばならぬ」 坂村真民

鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ
怒涛(どとう)の海を 飛び行く鳥のように
混沌(こんとん)の世を 生きねばならぬ
鳥は本能的に 暗黒(あんくわく)を突破すれば
光明(くわうめい)の島に着くことを知っている
そのように人も 一寸先は闇ではなく
光であることを 知らねばならぬ
新しい年を迎えた日の朝 私に与えられた命題
鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ

なぜ(WHY?)「人は生きねばならぬ」のか?それは、家族、友達、先生、地域の人たちなど、様々な人の支えや助けによって生かされてきたからこそ、我々は生きねばならないのだ。

では、どのように(HOW?)「人は生きねばならぬ」のか?どんな時代にあっても、私たち人間は、希望を持って生きていくことができる。それは自分の意思で自分の生き方を決めることができるからである。困難な状況に直面しても、明日を信じて、困難を乗り越え生きていくのだ。一寸先は闇ではなく希望の光である。明日はどうなるかわからないが、今日一日笑顔で過ごすしていく、そんな強い心と希望を持って、生きていこう。

* 校内書き初め大会 1/7 *

1月7日(水)に校内書き初め大会を開催しました。体育館に響き渡る太鼓の音を合図に、全生徒がそれぞれの思いを込めて筆を走らせました。静寂に包まれた体育館で、美しい文字が、見事に紙上に現れていく様子は、見ている私たちを感動させました。

書き初めは、単に文字を書くということではありません。それぞれの文字に込められた意味を考え、それを美しい文字として表現する、日本の伝統文化で、その起源は平安時代にまで遡ります。書き初めが庶民の文化として定着したのは江戸時代のことですが、いずれにしても長い歴史を持つ由緒ある新年の行事なのです。



生徒たちは、それぞれの目標や願いを心に秘めながら、一筆一筆丁寧に書き上げていました。自分自身の内面と向き合い、将来への希望を育む貴重な機会となったことと思います。

<入賞者の紹介(敬称は省略)>

- | | |
|----|----|
| 1年 | 金賞 |
| | 銅賞 |
| 2年 | 金賞 |
| | 銅賞 |
| 3年 | 金賞 |
| | 銅賞 |

※入賞者の作品は1月24日(土)25日(日)にふじまるで開催される藤岡市小中図工・美術・書道展に出品されます。

